

○吉村善明議長 次に、22番白本和久議員。

（22番 白本和久議員 登壇）

154○22番 白本和久議員 最近、北地区において、住民の間で奈良交通のバス路線の減便及び廃止が大いに話題になり、また、地域の足としての懸念材料となっています。

地域公共交通は大きくバスと鉄道に分類されます。生駒市においては、路線バスは奈良交通、鉄道は近鉄と、二つが公共交通機関として役割を担ってもらっていますが、近年における急速な少子高齢化の進展、移動のための交通手段に関する利用者の選好の変化により、地域公共交通の維持に困難を生じてきております。特に乗り合いバスについては、全国の輸送実績が1970年の100億7,600万人から2016年には42億8,900万人に減少しています。このような背景のもと、国においては地域公共交通の活性化及び再生に関する法律が制定され、この法律に基づき、本市では生駒市地域公共交通計画が令和3年3月に策定されています。

以上の状況を踏まえ、以下の項目について質問いたします。

1、生駒市地域公共交通計画においては市民が日常生活を行う上で必要となる活動機会を保障していくと規定されていますが、その中において、高齢者、移動困難者に対するバリアフリーとユニバーサルデザインについて定められている高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき、移動等円滑化促進方針は定めていますでしょうか。

2、地域の自動車交通の現状と問題についてどう捉えているか教えてください。

3、市内における鉄道と路線バスの関係についての問題点について教えてください。

4、交通安全対策基本法に基づく交通安全計画の策定はされているのでしょうか。

5、ICTを活用した交通計画の策定については検討されていますか。

6、国が策定した自転車活用推進計画、奈良県自転車利用促進計画に基づく取組はされているのでしょうか。

7、生駒市地域公共交通計画に観光の項目がないのはなぜでしょうか。

8、自動運転バスの社会実装を検討していますか。

以上です。次回からは自席で質問させていただきます。

155○吉村善明議長 米田建設部長。

（米田尚起建設部長 登壇）

156○米田尚起建設部長 それでは、白本議員のご質問、生駒市地域公共交通計画について、他の所管に属する部分もございしますが、1回目は私からお答えさせていただきます。

まず、1点目のご質問、生駒市地域公共交通計画において、高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に基づき、移動等円滑化促進方針は定めていますでしょうかについてですが、本市では、令和3年3月に生駒市バリアフリー基本構想を策定しており、その中で、公共交通に関することと言えば駅舎や車両のバリアフリーの推進について言及しております。

次に、2点目の質問、地域の自動車交通の現状と問題点についてどう捉えるかについて教えてくださいについてですが、昔から奈良県は道路が弱いとよく言われていますとおり、本市におきましても、

国道 163 号や 168 号の幹線道路の整備が現在も国、県の事業として進められている最中であり、交通結節点機能もまだまだ整備が必要な箇所が多く存在しているのは事実であります。今後もこういった主要な幹線道路の整備に併せて、連絡する市道の整備を行っていくことで交通渋滞の緩和を図っていく必要があると認識しております。

次に、3 点目のご質問、市内における鉄道と路線バスの関係についての問題点について教えてくださいですが、現在、生駒市内におきましては鉄道事業者として近畿日本鉄道が、バス事業者としては奈良交通がそれぞれ運営されており、市内では、奈良線、けいはんな線のそれぞれの駅において結節されている状況となっております。また、それぞれのダイヤ改正が行われる際は連絡調整がなされていると聞いております。

次に、4 点目のご質問、交通安全対策基本法に基づく交通安全計画の策定はされているのでしょうかについてですが、交通安全計画は策定しておりません。同法では、都道府県に交通安全計画の策定を義務付けている一方、市町村については、その策定は努力義務とされるにとどまっています。本市は、首都圏や大都市などの重大な交通事故が多発する、あるいは交通事故の発生に特異性のある地域ではないため、県の交通安全計画とは別に、本市が独立した交通安全計画を策定する必要性は大きくないと考えております。このため、県の交通安全計画に基づき、市域において交通安全対策を推進する生駒警察署と連携、協力しつつ、生駒市総合計画で交通安全に関する施策の大綱等を定め、生駒市内における交通安全を推進する関係行政機関及び団体をもって生駒市交通安全対策協議会を組織して、様々な取組を推進しております。

次に、5 点目のご質問、I C T を活用した交通計画の策定については検討されていますかについてですが、生駒市地域公共交通計画にも記載されております北部地域では、学研北生駒駅中心地区まちづくり構想策定や学研高山地区第 2 工区まちづくり検討会が設置され、北部地域の玄関口としてふさわしいまちに向けた方針や奈良先端大学を中心としたイノベーションを創出するまちづくりに向けた方向性が示されております。この中で、超スマート社会の実現に向けたまちづくりとして、自動運転や次世代都市交通システム A R T などの新たな交通システムの導入が示されていますので、このような新しいまちづくりの方向性と連携して、新しい技術を活用した交通システム導入に向けた情報収集、実証実験等を検討していくこととしております。

次に、6 点目のご質問、国が策定した自転車活用推進計画、奈良県自転車利用促進計画に基づく取組はされているのでしょうかについてですが、奈良県自転車利用促進計画は、令和 2 年 3 月に、これに代わる新たな計画として奈良県自転車活用推進計画が策定されています。これらの計画においては、国は自動車事故のない安全で安心な社会の実現を、県は安全で安心な自転車利用文化の醸成をそれぞれ目標の一つとして挙げており、本市としても交通安全等の観点から必要な取組を行っております。

次に、7 点目のご質問、生駒市地域公共交通計画に観光の項目がないのはなぜでしょうかについてですが、市内の集客施設から他の魅力ある観光地への公共交通サービスの利便性はそれほど高くないため、生駒市地域公共交通計画では、目標を達成するために行う事業の施策の一つとして、108 ページに、公共交通を利用して観光できる環境づくりの事業として、交通事業者や観光施設と連携し、公共交通を活用した観光モデルルートの整備や利用促進を図るために施設やイベント

と連携した企画乗車券の発行等、観光振興に資する施策を検討すると定めております。

最後のご質問、自動運転バスの社会実験を検討していますかについてですが、5点目のご質問で答弁させていただいたとおり、生駒市公共交通計画にも記載のとおり、北部地域における超スマート社会の実現に向けたまちづくりとして、自動運転や次世代都市交通システム A R T などの新しいまちづくりの方向性と連携して、新しい技術を活用した交通システム導入に向けた情報収集、実証実験等を検討していくこととしております。また、路線バス事業者である奈良交通につきましても、現時点におきましては他社の動向を注視し、今後、検討していくと聞いております。

以上、ご理解賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

157○吉村善明議長 白本議員。

158○2 2 番 白本和久議員 質問については主に北地区を中心に質問を考えてきましたので、その旨、議員の皆様方においても留意してください。

そしたら、質問に入ります。

バスのバリアフリーということなんですけども、ノンステップバスはどのぐらい走っているのでしょうか。

159○吉村善明議長 米田部長。

160○米田尚起建設部長 現在、ノンステップバスの運行につきましては、奈良交通に確認しておりませんので手元に資料がございません。

161○吉村善明議長 白本議員。

162○2 2 番 白本和久議員 この間、私と神山議員と梶井議員、3人で聞いたところ、バスについては60%やというように聞いております。もちろん担当の課長さんもいはいりましたけども、それで、政府は2020年に70%を目標として整備してほしいというように言っているんですけども、奈良交通は60%です。そして、そのうち、僕もそこからはちょっと分からへんねんけども、生駒市内でもノンステップバスが走っているところはあるらしいです。でも、なかなか北地区の方には走ってないみたいで、その辺のところは高齢者対策として要望してもらいたいなというように思います。

次に、このことについてやねんけど、バス停留所、これはほとんど、もう何十年と僕も富雄川の方を走ってる富雄傍示線か。(発言する者あり)庄田線。ほんで、バス停留所が変わってない。宮方橋なんか、あんなところ、誰も人間はおらへん。ねじ工場のところぐらいにバス停を造るとか、やっぱりバス停の見直しというのをやっとなあかんと思うんです。どうでしょうか。

163○吉村善明議長 米田部長。

164○米田尚起建設部長 当然、議員おっしゃるとおり、地元からそういう要望があれば、奈良交通とも運輸局とも協議して、変更については考えたいとは思いますが、ただ、バス停の移動に関しましては、その設置する土地とか隣接の方々の承諾も当然必要ですし、昨今、バス停につきましては、毎日、その場所にバスが停車することになりますので、騒音とか振動とか排気ガスの問題もあることから、なかなかその近隣の方にはご理解いただけないとは聞いております。

165○吉村善明議長 白本議員。

166○2 2 番 白本和久議員 宮方橋を見はったらその答えは出てけえへんと思うわ。あれは、あのバイパスがなかったから宮方橋にならんとあかんかったけども、バイパスができて集落がバイパスの方にあるんだから、その見直しについて、やっぱりそこで乗っている方の評価とかそんなんを調べて、地域、

自治会とかと話をするのは市のこれからの、これからじゃない、今ですね、役目やと思うんですわ。宮方橋だけ言うてるけど、他にもあるわけで、そういうところを調べると言うか、奈良交通と連携してそういうのをやってもらわないと、奈良交通だけではちょっとしんどいと思います。どうでしょうか。

167○吉村善明議長 米田部長。

168○米田尚起建設部長 地域の声というのは非常に重要だと認識しておりますので、そのような要望があれば、市も入って調整はさせてもらいたいと思います。

169○吉村善明議長 白本委員。

170○2 2 番 白本和久議員 こういう機会ですので、自治会の方も何とか路線バスを廃止若しくは減便してほしいというのは言うてる。それにやっぱり応えて。もう言うてるわけですわ。せやから、市は何ができるか。自治会はこれを言うて来てるわけやねんから、それを聞いて、やってもらわんと。それやったら、もう一回、自治会が要望書を出したらいいのか。どうですか、部長。

171○吉村善明議長 米田部長。

172○米田尚起建設部長 宮方橋の停留所の要望ですよ。その件に関しては、ちょっとまだこちらの方の耳には入っていませんので、要望書を出せとか、そういういきなりの話ではなくて、声をまず聞いた上で、確認した上で調整したいとは思っています。

173○吉村善明議長 白本議員。

174○2 2 番 白本和久議員 バスね、普通に言うて、僕の聞いた話は、バス減便、廃止とかになったら困ると言うわけや。ところが、それやったら、反対するのはあれやけども、その次、どないするねんと言うたら、いや、バス乗らへん、バスが走ってるのが一番安心材料やと、こう言うんや。市が一生懸命、頑張って補助金を出すとかしても、それやったら出した意味がないと言うか。せやけど、言うてはるのを聞いてたら、バスに乗りたいた。そのような環境をついたら私らも要望するけども、やっぱりバスに乗りたいたいように、奈良交通さんも市さんも一緒になって考えてもらいたいというのが聞いた話です。僕自身、全員に聞くわけにはいかんけども、自治会長さんとかそういうので反対を言っておられる方と話をしたらそういう話でした。現に昔はみんな乗ってたんやから。車になったから乗らないというようになってるので、どうか市の方も、言うてきたらやると言うんじゃないで、一緒に、この機会に考えていただきたいなと思います。

次に、バリアフリーですもんけども、東生駒駅のバス停と改札口を結ぶところにエレベーターが欲しいという話が昔からあります。この件についてはどうでしょうか。

175○吉村善明議長 山本副市長。

176○山本昇副市長 東生駒駅前の、特に西側からの階段が非常に上りづらい、あるいは下りづらいということで、高齢者もそうなんですけども、小さい子どもをお持ちの方、だから、乳母車なんかを抱えながら下りていくのに非常に不安があるという声はたくさん聞いておまして、先般、他の議員さんからもそういうような要望もされたということもございますし、先日、近鉄の社長さんとかとの協議をする場があったものですから、そこで一応、市と近鉄とじっくり話合いをして、早い時期に何らかの解決策をつくっていきたいということで、今、協議を開始いたしましたので、具体的な内容がどうなっていくかについては今後になるとは思いますけれども、早い解決をしたいというふうには思っております。

177○吉村善明議長 白本議員。

178○2 2 番 白本和久議員 ありがとうございます。

そしたら2番目に移ります。北地区の自動車交通の問題点なんですけども、北地区のところで交通渋滞が起こってるところってどこでしょうか。

179○吉村善明議長 米田部長。

180○米田尚起建設部長 1回目の答弁につきましては生駒市域全体での話をさせていただきましたが、北地区におきましては主に上村大橋周辺であるとか高山大橋周辺で、一部、渋滞があるとは聞いております。

181○吉村善明議長 白本議員。

182○2 2 番 白本和久議員 上村大橋は、都市計画道路やったかな、のところなので渋滞が起こる。これの対策としてはどのように考えておられるんでしょうか。

183○吉村善明議長 米田部長。

184○米田尚起建設部長 上村大橋につきましては、以前に右折レーンの延長であるとか交差点の一部改良であるとかはやっております。

185○吉村善明議長 白本議員。

186○2 2 番 白本和久議員 それ以上のことはまだ計画にないんですか。

187○吉村善明議長 米田部長。

188○米田尚起建設部長 今、学研北生駒のまちづくりの方向で、あの周辺については都市計画を始め、いろいろ調整はしておる中で、その周辺の交通ネットワークとかを整理した上で、今後考えていきたいとは思っています。

189○吉村善明議長 白本議員。

190○2 2 番 白本和久議員 高山大橋についてはどうでしょうか。

191○吉村善明議長 米田部長。

192○米田尚起建設部長 高山大橋につきましては、現在、国道 163 号線のバイパス事業として、一部、側道とかはもう整備されてきておりますので、大分、緩和はしてきているかなとは思っています。

193○吉村善明議長 白本議員。

194○2 2 番 白本和久議員 高山大橋なんですけども、その北側、大北からイモ山に通ずる市道なんですけども、大変混雑します。朝晩、地域の住民がなかなか道路端に車を持っていけないというような状態が続いています。それは一つは、やっぱり高山大橋がなかなか解決しないからやと思うので、もう少しその辺のところを考えていただきたいなと思います。

その次に、自動車交通ということなんですけども、庄田とか大北の人は梅田とか京都へ行くのに北生駒まで、ほとんど下りてきてません。車で祝園へ行ってるわけ。ほんで、あそこは駐車料金も400円で安いし、高山から行ったら10分で行ける。そしたら、生駒市としては、京都の話までできへんけども、京都へ行くまでの道は市道が走ってるねんから、その整備を考えたらどうかと思うねん。どうでしょうか。

195○吉村善明議長 米田部長。

196○米田尚起建設部長 学研高山第2工区の方でも道路整備というのは計画には載っていると思います。今の現道の市道におきましたら、美の原線になるとは思いますが、美の原線につきま

しては、部分部分、用地的に余裕があるところであるとかは過去にも拡幅している経緯がございますので、これから、特段、必要といったニーズがあれば、それはそれでまた検討していきたいとは思いますが。

197○吉村善明議長 白本議員。

198○2 2 番 白本和久議員 京都府に言うのは奈良県を通じて言わなあかんけども、今言うてはる美の原線については、京都までは市の道路やねんから考えてもらいたいと思います。

一番は、やっぱり高齢化ですわ。急速な高齢化に伴ってという法律に基づいて、この地域計画をつくってるねんから、そこに急速な高齢化と書いてあるねんから来年、再来年の話ぐらいのレベルで話をやっていかんとあかんと思う。同時に、私も書きましたけども、自転車、あそこはようけ、特に土曜、日曜になったら走ってます。多く来てます。これは交流や。この地域公共交通計画の一つの柱ですわ。片一方は路線のあれやけど、片一方は交流という意味で観光とかそういう人をどしどし入れなさいと。それで、相互に活性化してほしいというのがこの法律の根元やと思いますねん。そしたら、自転車道の促進とかそういうのをしてもらいたいんですけど、どうでしょうか。

199○吉村善明議長 米田部長。

200○米田尚起建設部長 自転車道におきましては、現在、奈良県の方で、たしか京奈和サイクリング道でしたか、という形で部分的に整備はしてきているとは思んですけど、主に聞いておりますのは、河川敷を利用した自転車道であるとか、一部、車道と共有して走る部分の自転車道とかという形で整備をしてきているとは聞いております。

ただ、生駒市地域におきましては、物理的に幹線道路と言われる県道、国道でもまだ自転車道のスペースがないという状況でございますので、それと連絡する市道についてもなかなか難しいのかなとは思いますが、ただ、自転車道の必要性というのは認識はしておりますので、奈良県の計画と合わせて、ちょっと考えてみたいなどは思います。

201○吉村善明議長 白本議員。

202○2 2 番 白本和久議員 ありがとうございます。

そしたら、次に行きます。

3 番目なんですけども、朝、白庭台の駅で、いつもバスを降りたら、改札口までと言うよりもホームまで走りはる。ほんで、この質問があるから聞いたんや、何でやねんと。聞いたら、時間が1分しかないねんと。普通に定時で着いて降りて、ほんで、電車が出るまで1分しかない。だから走るんやという意見でした。これも、要は奈良交通さんと近鉄さんと言うよりも、奈良交通さんがもうちょっと勉強しはったらええことやと思うんですけども、このことについて交通計画の会議で言えることはあるんでしょうか。

203○吉村善明議長 米田部長。

204○米田尚起建設部長 当然、近鉄さんも奈良交通も委員として活性化協議会の方に参加していただいておりますので、言える機会はあるかとは思いますが。

205○吉村善明議長 白本議員。

206○2 2 番 白本和久議員 そういうように、ひかりが丘の方も言うておられることがあるので、高山の人も言うておられるんですけども、そういうことを聞きましたので、こういうことについては、また奈良交通さんにも要望しておいていただきたいと思います。

207○吉村善明議長 山本副市長。

208○山本昇副市長 奈良交通と近鉄とは、お互いの発車・到着時刻等については基本的には近鉄の時間をベースに、結局、奈良交通の方が毎年、調整をしているというふう聞いております。だから、1分というのは、奈良交通の規格の中では1分じゃなしに、多分その次のバスを予定して設定していると思うので、通常、降りて、歩いて、中に入ってということで、それに合わせて、後一定の時間というのを考慮して決めているというふうに思っておりますので、聞いてはおきますけれども、多分そういう設定で、1本早く乗ろうとすると1分の差で行かなければいけないというようなことではないかなというふうに思っておりますので、そこのところはきっちり奈良交通は近鉄さんの発車時刻に合わせているというふうに聞いておりますので、ご承知おきいただきたいと思います。

209○吉村善明議長 白本議員。

210○2 2番 白本和久議員 了解しました。

次に、4番目に行きます。時間が半分あるわ。

4番目ですけども、答弁を聞いていますと、交通安全計画は、生駒市にはあまり大きな事故とかそんなんがないんで要らない、つくらなくてもいいんと違うかというように聞こえるんですけども、どうでしょうか。

211○吉村善明議長 澤井危機管理監。

212○澤井宏保危機管理監 今現在、そのような趣旨で策定はしておりません。

213○吉村善明議長 白本議員。

214○2 2番 白本和久議員 いや、策定は。質問を聞いてもらいましたか。

215○吉村善明議長 澤井危機管理監。

216○澤井宏保危機管理監 交通安全計画を策定するとなるとそれ相応の手間がかかります。我々の方としましては、生駒市の特性上、計画を作成することを重視して作成するのではなく、現場の指導等をもっと力を入れてやっていきたいということで、現在、取り組んでおります。

217○吉村善明議長 白本議員。

218○2 2番 白本和久議員 今、生駒市地域公共交通計画を基に話をさせてもろうてます。その根本の法律である地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づいてこの計画をつくっている。その第1条に書いている目的として、地域住民の自立した日常生活及び社会生活の確保、活力ある都市活動の実現、観光その他の地域間の交流の促進及びと書いていますけども、一番最初には、急速な少子高齢化の進展、移動のための交通手段に関する利用者の選好の変化によりと書いておる。少子高齢化って急速になって、2025年には75歳以上は団塊世代になるわけですわ。後3年ですわ。それやのに、これ、全然変わらない。変わらないという言い方はちょっと失礼やけども、毎年、同じような。高齢化対策としての交通安全施策は何をされてるんですか。

219○吉村善明議長 小紫市長。

220○小紫雅史市長 すみません、もう少し丁寧にお答えした方がいいかと思います。

先ほど手間がかかるからとかというような話もありましたけど、確かに手間はかかるんですが、それが主な理由ではありません。

先ほど1回目の答弁でもありましたように、奈良県の方で、当然、この安全計画が策定をされてお

りまして、例えば奈良県全体と比べて見たときに、生駒市が非常に特筆すべき特殊な交通状況、社会状況で、生駒市独自の安全計画をつくらないと奈良県のものを利用していろんな交通安全対策をやるとするのはなかなかまいこといけへんというような事情があれば、市町村は努力義務ですけれども、つくる意義というのは大きくなってくると思います。ただ、奈良県全体でつくっていただいている安全計画を活用させていただければ、生駒市の交通安全対策は十分それで済むだろうということで、生駒市だけの独自の計画をつくる必要までは今はないんじゃないかというのが現時点での我々の考え方です。

ただ、今、白本議員がおっしゃったように、生駒市の交通安全の状況もちよっと変わってきています。数年前、私が副市長とかで来たときは、本当に生駒市は交通死亡事故が数年間ゼロでしたというような、そんなまちだったんです。今も生駒市は交通事故ってすごく少ないまちなんですけれども、残念ながら年間で死亡事故が、毎年、1件とか2件出てきてしまっている、その多くが高齢者であったりするということで、少子高齢化の影響なんかも含めまして、少し交通安全対策を強化していかなくちゃいけない時期なのではないかというようなことを白本議員もおっしゃっているのであれば、それは私も同じ認識に立っています。だけど、じゃ、生駒市の安全計画をすぐ今直ちにつくらなくちゃいけないのかということまでは私は思っていないくて、今、いろんな交通安全週間のときに、特に春は新1年生とか子どもたちを中心にやっていますけれども、特に秋に関しましては高齢者を中心としたキャンペーンをやっています。これは、議員おっしゃるように、去年と全く同じような啓発だけやっていいのかというような問題意識は私もずっと投げ掛けていて、担当職員、警察関係者、あと、いろんな交通安全関係の団体の皆さんがいらっしゃいますので、今回、協議会の中に、警察と我々だけじゃなくて、交通安全の関係の団体の皆様にも入っていただいて、いろんな活動報告をしていただく中で新たな取組を追加していったり、本当に毎日、道端に立って交通安全をしていただいているような皆様を改めて表彰していったり、そういう方に安全ベストをお渡ししたりとか、そういう新しい取組はやっています。シミュレーションの機械みたいなのを使って、高齢者の方の認知とかが落ちてきているか、大丈夫かみたいな、そういうシミュレーションもしていただいたりと、結構、小さいことかもしれないんですけど、そこは同じことをやっていたらあかんでという問題意識は白本議員と一緒に、ちよっとずつ変えてきていますので、まずはそういう具体的な取組、見守り等も含めてやっていって、これはやっぱり生駒市独自の何か計画をつくらなあかなというようにことにもしなればそういうことも検討しますが、今の時点の認識はそういうことで、直ちに計画をつくるというような認識ではないということですが、恐らく考えておられる課題、そして、何か変えていこうという意識で実際やっていることもありますので、そこはご理解をいただきたいと思えます。

221○吉村善明議長 白本議員。

222○2番 白本和久議員 今、市長の言いはったこと、十分理解させてもらいます。

交通計画をつくらなくても、高齢者、少子高齢化ですので、それに対する指針なり、市民の方も、また職員も分かるように考えてもらうたらええのかなというように思います。よろしく願います。

ちよと澤井管理監がおられますので聞くんですけども、路線バスの災害時についての、災害時と言うより災害の後ですな、これについてはどのように評価と言うか、考えておられるでしょうか。

223○吉村善明議長 米田部長。



224○米田尚起建設部長 災害時におきましては、災害後、福島とかで路線バスが地域の方々の移動手段として活躍したとは聞いております。

225○吉村善明議長 白本議員。

226○2 2 番 白本和久議員 今、部長が答えていただきましたけども、福島とか宮城とかで、あのとき東北で起こったときに、災害直後ですな、以降、交通で動いていたのはほぼ路線バスだったそうです。路線バスが走ってるからよかったな、元気出るわと周辺の人が言うて。そのときはそれしかないねんから。自分の車とか全部壊れてるから、その直後に動き出したのは路線バスだそうです。それで一つの勇気が出たというような評価もあります。ですので、僕は思うねんけども、路線バスを減便とか廃止とか、それがありませんけども、できるだけ廃止をしないで、1 便でもええから動けるように考えていただきたいなと思います。

次、5 番目なんですけども、先端大学と包括協定を結んでおられると思うんですけども、この包括協定において、今、回答が出ています新交通システム、こういうのはどういう意見と言うか、大学とはされているんでしょうか。

227○吉村善明議長 北田部長。

228○北田守一都市整備部長 今現在、先端大と高山第 2 工区のまちづくりの中で包括協定ということで組んで一緒に考えていますけど、具体的にまだそこまでには実は至っておりませんで、大きな話のまちづくりというところでどんなことができるのかというようなところを先端大と、今、話しているところでございます。

229○吉村善明議長 小紫市長。

230○小紫雅史市長 まちづくり全般のすごく大きな話で言うと、今、北田部長が申し上げたとおりではあるんですけども、今、既に I C T を中心にやっておられる研究室が、カーシェアリングなんですけれども、オークション形式というちょっと面白いやり方でカーシェアリングをして、1 台の環境への負荷の小さい自動車を、1 台と違うわ、何台か導入してますね、活用して、非常にたくさんの利用があるというふうに聞いています。なので、まちづくりの中での非常に大きな次世代型の交通システム、M a a S とかありますけれども、自動運転もありますし、そんなものももちろんですけども、今できることとして、そういう実際の、いろんなインターネットとデジタル化を活用した車のシェアリングみたいな話、それは実際に先生方とか学生が非常にたくさん使っていて、これは、例えば高山第 2 工区のまちづくりの中でもかなり生かせるんじゃないかとか、逆に、2 工区に限らず、学研北生駒とか北部地区中心にそういうものが生かせるんじゃないかという話もありますので、そんなところも含めて、今、結構できることと将来的にまちづくりの中で大きく展開していくことと、両面からしっかり先端大との連携は進めていっていますし、今後も進めたいと思います。

231○吉村善明議長 白本議員。

232○2 2 番 白本和久議員 その大きな話も重要やと思うんですけども、住民からしたら、奈良交通のホームページから引っ張れる位置情報とか時刻表とか、ああいうのをスマホで見れるわけです。それは分かるけども、高齢者の人はそれが分かるかという話。それを誰が教えるんやと。奈良交通は、もう作ったで、あとは見ないのがあかんやんけど、そんな感じやと思うんですわ。そしたら、地域住民が、またこれ要望したらあれか知らんけど、要望じゃなくて、身近な I C T を高齢者の方も使えるように、

様々な講習会、何かをつくったときにやるというのも一つの手やと思うんですけども、どうでしょうか。

233○吉村善明議長 米田部長。

234○米田尚起建設部長 スマホの使い方とかの講習会については市でも様々、今までもやってきていると思うんですけども、確かに奈良交通のバスナビでしたかな、位置情報というのは非常に便利なものやと思います。ですから、住民の方々にもその辺の周知の方法についてはもっともっとするべきやと思いますので、今後とも連携して考えたいと思います。

235○吉村善明議長 白本議員。

236○2 2 番 白本和久議員 ありがとうございます。

そしたら、その次の6番。自転車、これも取組をされていないやけども、僕は思うねんけども、高齢者、特に70前後やと思うんですけども、一つの選択肢として、電気自転車ですわ。あの辺は、山の方へ行かなあかんというのは富雄川沿いを走るのがほとんどやねんから、そういうのを推進したらどうかということなんですけども、どうでしょうか。

237○吉村善明議長 米田部長。

238○米田尚起建設部長 取組としてはいいと思います。

239○吉村善明議長 白本議員。

240○2 2 番 白本和久議員 取組はええという話は分かりますけども、そしたらどないするねやと。市としてはどうということが考えられるかということ。もちろん乗るのは地域住民やし、自転車を購入するのも地域です。要は、僕は思うけど、原付に乗ってるのやったら、やっぱり自転車に乗った方が安全やと思うんですわ。なぜなら、大体、原付で事故起こしたら複雑骨折が確実になる。これは統計で出てますけども。それを、自転車で、交流と言うか、近所へ行くのもそれやと。電気自転車は大変便利やと思うんですけども、それについて何かできることはないでしょうか。

241○吉村善明議長 山本副市長。

242○山本昇副市長 この辺が米田部長の管轄でないかも分からへんで、ちょっと代わりにお答えしたいと思います。

電動自転車の件でいいんですかね。（「はい」との声あり）ということで、過去にも電動自転車の補助というのを生駒市としてもしておいた時期がございます。電動自転車に対する補助ということに関しましては、過去やっていたときも、なかなか全員に行き渡らない、一部の人にしか行かないという、そういう不公平感の話があったり、あるいは、今、自転車の中での電動自転車の割合というのが生駒市内でもかなり増えてきております。だから、そういったことも踏まえて、バイクよりは電動自転車の方が健康にもいいというようなこともございます。電動自転車よりも普通の自転車の方が健康にはいいんです。だから、そういったことも含めて、この辺りは、今ご質問されて、補助してくださいという話なんですけども、やっぱり総合的な考え方をきちっと整理した上で判断はしてまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いを申し上げます。

243○吉村善明議長 白本議員。

244○2 2 番 白本和久議員 それは補助金と言うか、それをしてもらうのはあれやけども、高齢者対応の、例えば交通安全教室、そういうところで高齢者の人に電気自転車って便利やでというのを実体験してもらって、それだけでもええと思うんですわ。そういうところからも、また自治会長らの会合

も、あそこは8自治会で月1回やってはりますので、そのときに自治会長に乗ってもらって、これは便利やと。自治会長は大体70前後の人がなってますよって、ええと思うので、ちょっとその辺は考えてもらうたらええかなと思います。

次、観光なんですけども、地域公共交通計画ってつくりはったけど、法文から言うても大体半分は観光の話。せやけど、これは1ページだけや、地域公共交通計画に載ってる観光は。片一方だけ、こっちだけが出ていくのと違って、あっちから来てもらうということが大事なことなので、ほんで、奈良交通もバスに乗ってもらうたらええねん、誰に乗ってもらうても構わへんやん。別に地域の者に乗ってくれと言ってるのと違う。それを考えてもこれは大変重要やのに、僅か1ページで終わってるというのは、法律を読んでものかいなと僕は思うんや。何回もこれ、観光、観光と書いておるわけや、法律には。どうでしょうか。

245○吉村善明議長 米田部長。

246○米田尚起建設部長 確かに地域公共交通活性化及び再生に関する法律の中で、観光の振興に関する施策とその点検に関する事項ということがうたわれているのは確かでございます。その中で、生駒市の地域公共交通計画については、目標を達成するために行う事業、施策として観光ということで挙げている状況でございます。以上です。

247○吉村善明議長 白本議員。

248○22番 白本和久議員 高山には茶釜という観光財産があります。これがなかったらあまり僕も言わへんけども。そういう財産、それからくろんど池、竹林園、法楽寺、長弓寺とあるわけです。そこへもってきて、伝統ある自治会の祭りとかいろんな催物も、小さな催しでもやってるわけ。それを拾い上げると言うか、出してもらうて、高山城も、最近また、石と言うか、記念のやつが生涯学習課のおかげでなつたみたいですけども、そういう観光資源を有効活用するということについてはどのように考えておられるでしょうか。

249○吉村善明議長 領家地域活力創生部長。

250○領家誠地域活力創生部長 高山地区の観光につきましては、これまで観光客周遊滞在促進事業という事業におきまして、今おっしゃっていただいたような観光資源である高山の茶釜とか編み針とか、くろんど池とか、こういうところでの体験コンテンツというのをつくって、これを、現在、体験予約サイトでも販売まで持っていつているところが今取り組んでいるところです。

また、昨年度に頂きました篤志寄附を活用して、今年度から地域内外の人が関わって多様な取組が創出される仕組みづくりについて検討しているところでして、今現在、今年度ですな、高山のポテンシャルを発掘するための、先ほどおっしゃったような地域資源とか観光資源、それ以外にも人や物、風景、場所、こういったものをまとめたマップを作成しているところでして、これから本格的にいろんな仕組みが生まれるようなことをしていきたいと思っていますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

251○吉村善明議長 白本議員。

252○22番 白本和久議員 地域交通に関連する法律で交通政策基本法というのがあるわけです。これの第26条なんですけども、国は、観光立国の実現が我が国経済社会の発展のために極めて重要であるとともに、観光旅客の往来の促進が地域間交流及び国際交流の拡大を通じて国民生活の安定向上及び国民経済の健全な発展を図ると、こう書いとるわけ。国の政策がそうせえと

言うてるんやけど、市町村の方はなかなかついていけないのが、今日のこの計画書を読んでも感じするんですね。

それで、質問なんですけども、国が言うてるインバウンドについてはどのようにしようと思ってるんでしょうか。

253○吉村善明議長 領家部長。

254○領家誠地域活力創生部長 インバウンド客につきましては、生駒市全体でも誘客には、コロナ前もそういった対象について、先ほど言ったような周遊滞在促進事業もそうなんですけど、生駒の場合、着地型観光みたいなところで、茶釜とかお茶文化を味わっていただくみたいなところで、結構、興味を持たれている海外の方はいらっしゃると思いますので、そういう方にどんどん発信していこうというようなところで、インバウンドの充実について、また、海外のお客さんが戻ってきていますし、また万博もありますので、その辺りもしっかり取り組んでいきたいと思います。

255○吉村善明議長 白本議員。

256○2 2番 白本和久議員 昔、お茶をでかい茶わんで飲んだようなこと、何というの、あれ。大茶盛りか。やってきましたけども、例えばそういうことも一つの手かなと思います。そして、そういう外国人の観光客を高山にも呼んで、ほんで、できるだけ活性化するように、また、高山から、さっきも申し上げたように、祝園とか枚方とか、第二京阪にも近いし、道路交通網の利便性を使っている観光ルートを考えていただきたいと思うんですけども、どうでしょうか。

257○吉村善明議長 領家部長。

258○領家誠地域活力創生部長 観光資源の掘り起こしも今やっています、その中から、特に海外の方に訴求できるようなものについてしっかり発掘して、そこに通ずるルートについては分かりやすい案内というものをするようにしていきたいというふうに思っております。

259○吉村善明議長 白本議員。

260○2 2番 白本和久議員 次に、最後の自動運転なんですけど、自動運転については大学との連携をどのように考えておられるんでしょうか。

261○吉村善明議長 米田部長。

262○米田尚起建設部長 自動運転につきましては、先ほども申し上げましたが、奈良交通は他社の動向を注視しながら今後検討していきたいという話ですので、現在はまだ大学との調整は行っておりません。

263○吉村善明議長 白本議員。

264○2 2番 白本和久議員 大学も、高の原から大学へ行くのを廃止してもらったら困ると言うてるわけですか。それやったら廃止しやへん代わりに、例えば自動運転の実験に協力してくれんかい。言うたら、奈良交通も市も名前が出ていくわけですか。大学が突っぱねてるのやったら、これはしんどいけども、大学の方がそういうことを言うてるねんから、この機会を利用して、やるのが大事やと思うんですけど、どうでしょうか。

265○吉村善明議長 米田部長。

266○米田尚起建設部長 おっしゃるとおり、連携を深めることについては大切なことだと思います。

267○吉村善明議長 白本議員。

268○2 2 番 白本和久議員 実験をすることが大事やと僕は思うんですよ。それだけでいいと思うんですよ。

ちなみに大学の方にちょっと聞いたら、今、精華台でやってます。やってるのは片道2車線道路です。奈良交通も安全面で協力しているというメッセージを出したのが出てます。大学と僕が話をして言うてるねんけど、そんなら、生駒の場合は片道1車線道路しかない。片道1車線道路の実証実験をやるようにしたらどうやねんとは言うとききました。それは市も奈良交通も3者で、これ、できんことないと思うんですわ。大津なんかは実験を5回やっとする。実験がいくいかんは、なかなかやってみな分からへんけども、そういうことをやることは、結局、先端大学の名前も売れるし、生駒市の名前も売れるし、高山で走らせたなら高山の人間も、あ、こんなことをやるねんな、伝統だけと違うなと思うわけで、こういうのをやるということについてはどうなんでしょうか。

269○吉村善明議長 米田部長。

270○米田尚起建設部長 現時点におきましては、その規模であるとか、奈良交通との関係性であるとか先端大との話し合いであるとか、その辺が何もありませんので、ちょっとお答えすることができないような状態です。

271○吉村善明議長 白本議員。

272○2 2 番 白本和久議員 そのために包括協定を結んでると違うんかいな。担当部長。

273○吉村善明議長 北田部長。

274○北田守一都市整備部長 実際、白本議員が、今、先生方とどういったお話をされているかわかりませんが、私、包括協定の担当としまして、我々は高山第2工区の件での包括協定を担当しているところはあるんですけども、自動運転について、実はまだ1回も話したことがありませんので、まずは、先端大の方々と自動運転についてお話をまずさせてください。ちょっと聞かせてもらわんと私も何とも言えないので、そこから始めさせていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

275○吉村善明議長 山本副市長。

276○山本昇副市長 この話は二つあって、一つは自動運転のバスの社会実験の話と、もう一つは、高の原から高山サイエンスへ行ってるバスを廃止するというようなことを奈良交通が言っているという、この2点なんですけども、後者の方の話に関しては、一定、今、奈良交通、市、それから学校の方との話し合いをスタートし出した時期に入っております。先端大としても、やはり京都側からの学生とか先生の移動が、ぐるっと南回りという話では非常に不便やという声もかなり奈良交通の方も理解はいたしておりますので、途切れない形での移動手段というのを考えようということで、今、検討中でございます。

それから、二つ目の社会実験の話に関しましては、これは生駒だけの話ではないと思いますので、実際、精華のところでは今そういう実験もやっておりますし、奈良県の中での実験については、生駒だけではなく、もう少し大きな形の中で検討していったらどうかということは奈良交通には申したいというふうに思っております。以上です。

277○吉村善明議長 白本議員。

278○2 2 番 白本和久議員 実験やねんから、大学は実験はお手の物やから、大学が中心になってやるというのでやったらできるけど、奈良県を入れたらめっちゃ時間が遅れてしまうので、これはしん

どいことやなと私は思います。

それと、今日の新聞にもドローンの記事が何件か載っていました。地面を走るだけと違って空中もという話になりますので、交通政策については時代に合わせたことをしてもらえるようお願いして、質問を終わります。ありがとうございました。